

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成27年5月25日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県宇佐市大字上田1030番地の1

氏 名 宇佐市長 是 永 修 治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-32-1111

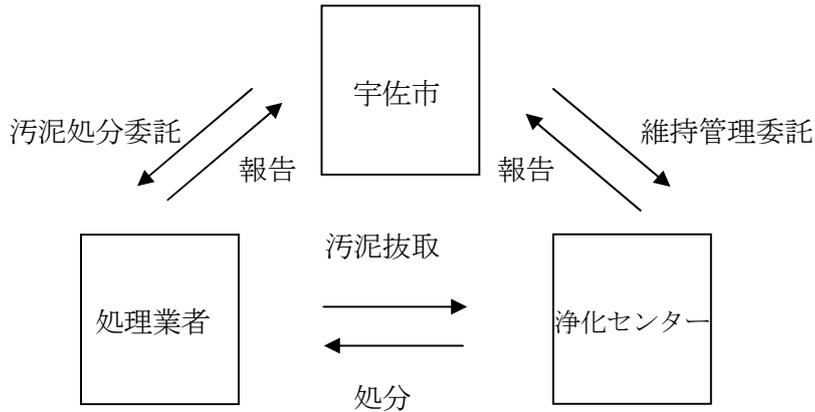
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	四日市・駅川浄化センター
事業場の所在地	大分県宇佐市大字芝原162番地
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	市町村機関【9821】
②事業の規模	処理区域面積 4,730,854㎡
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥処分業務委託

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	1111.4 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	1224 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —————
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —————

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—— t	—— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—— t	—— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1111.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1111.4 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1224 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1224 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			